
「LCI 観察による早期胃癌検出の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの上部消化管内視鏡検査レポートと診療録のデータを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2018年4月1日から2023年7月31日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、上部消化管内視鏡検査を受けて、早期胃癌と診断された20歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

上部消化管内視鏡検査時に通常の色彩で観察した場合よりも画像強調観察といった異なる色彩で観察したほうが早期癌の発見に有用との報告があります。今回、上部消化管内視鏡検査の施行時に通常の色彩画像で観察して早期胃癌と胃腺腫を発見できた病変と、通常の色彩では発見できず、異なる色彩画像(Linked color imaging: LCI)で観察して発見できた病変のそれぞれの特徴の違いや患者さんの背景の違いを比較検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年10月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

早期胃癌と診断された患者さんの上部消化管内視鏡検査を実施した際の内視鏡所見、その時に施行しました組織検査の病理所見および患者さんの年齢や、性別、ヘリコバクター・ピロリ菌の感染状況のデータを用います。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である今枝博之が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

早期胃癌と診断された患者さんの上部消化管内視鏡検査を実施した際の検査データおよび診療記録のデータを用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝博之（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 総合診療内科 山岡稔
- ・ 埼玉医科大学病院 総合診療内科 松本悠
- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 宮口和也
- ・ 埼玉医科大学病院 総合診療内科 塩味理恵
- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 大庫秀樹
- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 都築義和
- ・ 埼玉医科大学病院 総合診療内科 中元秀友
- ・ 埼玉医科大学病院 地域医療科 廣岡伸隆

4. 試料・情報の管理責任者

- ・ 埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝博之

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-2034（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：LCI 観察による早期胃癌検出の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝博之